

# H30年度 ガイドライン評価改善シート

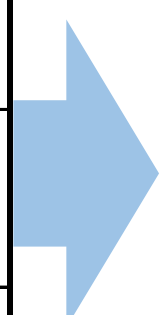
施設名 ( IPPO うめな園 )

作成日時 ( 平成29年 10月 15日 )

代表	施設長	本部
風間	大池	田中

H29年度 改善への取り組み	支援するスタッフが共通した視点をもって アセスメント・支援・計画に取り組む
今年度の施設目標	※個々の目標に合わせた環境作り 1階 ADL習得・できる事をふやしていく 2階 個々が理解しやすい手立てを増やしていく

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	全体のスペースは確保されている バリアフリーに対する配慮が欠けている	事業所側において、職員の配置人数・活動スペースに工夫が必要と感じている 利用人数が集中してしまった場面では体制的に困難なこともあった
業務改善	職員の資質の向上の為に研修確保	第三者による外部評価の実施 アンケート実施 保護者への公開
適切な支援の提供	支援に対する具体的な対応に欠けていた ガイドラインに沿った支援の設定 外部機関との交流の足りなさ	子どもと保護者のニーズ・課題にもとづいた支援計画の内容を、統一して把握できていない面がある
関係機関や保護者との連携	幼・保の併行通園に対する情報共有	併行する上での密な相談と助言ができていなかった 関係機関とのケース会議が足りなかった
保護者への説明責任等	契約にあたっての説明（利用負担・活動内容・支援内容・個人情報について） 支援以外で保護者の困り感に対する対応などに配慮が欠けていた（育児）	相談事に対する対応が迅速でなかった 丁寧な具体的なアドバイスにかけていた
非常時等の対応	緊急時のマニュアルの周知が出来ていない。 避難訓練が定期的に行われていない	事業所マニュアルの提示が不十分 スタッフ間での災害に向けての避難時の周知ができていない



分析検討してみた事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育室のスペース確保</li> <li>● 活動内容の工夫</li> <li>● 個々と集団での活動・課題への取り組み</li> <li>● 月1回のペースで参観・懇談会を設定</li> <li>● 月1回児童発達支援部会への参加</li> <li>● 法人での研修・ミーティング</li> <li>● 事業者内でのスタッフミーティング</li> </ul>

分析検討してみた事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者の不安・困り感・育児などへの適切な対応にかけている</li> <li>● 幼・保との連携が不十分</li> <li>● 職員が個々を理解し統一した支援がまだ不十分</li> <li>● 職員が毎日記録しているものが支援に活かされていない</li> <li>● 非常時の対応・説明が不十分</li> </ul>

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 緊急時マニュアルの見直し、スタッフ・保護者への周知（COCOメールの再説明・避難訓練の取り組み）</li> <li>● スタッフ記録だけでなくスタッフ間での話し合いの場を設定し、支援と視点がずれていないか等の共通理解をし個々への手立てにつなげていく。また個別支援計画にも連動していけるようにする。</li> <li>● 保育室1階2階を設定し個々に対する丁寧な支援に取り組めるようにしていく</li> <li>● 支援にあたっての資質向上のために研修時間をきちんと確保していく（個々の継続的なアプローチについて・個々のできる芽生えに対するの見直し・困難な場面でも統一した支援への取り組みについて・障がい特性の理解等・個人での研修参加への取り組み）</li> <li>● 幼・保との併行にあたっての機関との会議・情報共有（併用の幼児の情報の提供をする話し合い・児発でのアプローチの手立て等についての話し合い・併用がスムーズにいけるよう支援の取り組み方を統一していく話し合い等）</li> <li>● 子どもに関する情報を共有する事で共通の話題を作り事業所と家庭とでしっかりと連携を図ることを基本にし、保護者の悩みを受け止め適切な内容に関しては保育に取り入れていく。</li> </ul>

自己評価を行った事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 支援の改善を考える場面を設けずについて同じ事の繰り返しをしていたように思います。きちんと個々に対する理解ができていたかという点、まだまだ勉強不足であると感じています。スタッフ間でのミーティングは行っているのですがどこまで理解できたのかをきちんと周知していなかったように思います。保護者への対応も、保護者から何か言われると対応していたがこちらから寄りそって話を聞く場面設定が全くできていなかったと痛感しています。きちんとひとつひとつスモールステップできるよう、支援者としての力をつけていけるようにしていきます。</li> </ul>

来年度の施設目標

スタッフ間や保護者との間で共通理解をしどんな場面でも同じように支援ができる事への取り組み  
幼児の自立の広がりに向けてさまざまな状況に合わせた柔軟な支援の継続 スモールステップ